

第121回みよしグリーンサポート隊活動報告

- 1・日時：2021.11/21(日) 午前9時～11時30分
- 2・場所：C地区、D地区、E地区
- 3・参加者：34名(役場3名含む)

○11月1日(月)ナラ枯れ対策の活動

カシノナガクイムシ被害木への薬剤散布とビニールシート巻き作業をC、D地区にて行いました。

事前に、被害木の根元を油圧シャベルにて掘り起こし、トラスト協会より4名、GS隊2名、役場2名で9時から15時までに19本処理が終わりました。カシノナガクイムシ被害木がこれ以上増えない事を見守りたいと思います。

○11月10日(水)刈込隊の活動

植樹の為の準備作業としまして、場所決めと植穴掘りを行いました。

植える位置は7mから10mの間隔をとり、太陽光が差し込む場所に、30本決めました。穴を掘り、目印の棒を立て、リボンテープを巻き、植樹の際見つけられる様にGS隊5名と役場2名の方で、根を切りながらの作業で大変でしたが、刈込隊の頑張りで終わることが出来ました。



○11月13日(土)トラスト協会集会

トラスト協会でボランティアセミナー会員の集いが開催されました。

ボランティアは「安全が第一、事故の無い様に」の合言葉を確認しました。

ボランティアスタッフ指導員養成研修で半年間の勉強を終え、21名の方々が卒業されました。トラスト14号地藤久保の平地林としては江戸時代から続く伝統の流れを説明しました。

○11月21日(日) 定例の活動

植樹祭を行いました。

昨年カシノナガキイムシ被害を受け、伐倒木処理した樹木の根元周辺で日が当たる場所に、7mから10mの間隔で、埼玉県の補助にてお譲り頂いたクヌギ、コナラの苗木の植樹を行いました。

本日参加の方を1班5名から6名で、5班に振り分け活動しました。苗木と支柱の運搬、バケツに水を汲み、苗木の大きさに合わせて植樹する穴を調整、植え付け、支柱を立て、水やりを行い、根元を押さえて完成、名札を付け、1班で6本の植樹を行いました。C地区に20本、D地区、2本、E地区に8本の合計30本を植樹しました。

みんなで植えた苗木が無事に育ちますように。



植樹が1時間程で終わり、残り時間にC地区、D地区の枯れ枝や折れて落ちた枝を1mの長さに切り揃え、集めて紐で結束し通路側に集積しました。また、不法投棄されたゴミを集めて、分別してビニール袋へ入れました。後日環境センターへ搬出し処理してもらいました。残念ながらまだ少し残っている状況です。



○11月24日（水）堆肥場の増設と補強作業

堆肥置き場用に真竹を町内の農家様より分けて頂きました。竹を伐採、枝落としをして、4mの長さに切り揃えて、残りました竹はチップ処理を行いました。40本程トラックにて搬出しました。



トラスト14号地D地区奥の既存の堆肥場に増設、竹の組立て、針金で固定し、刈込隊の6名と役場2名の8名で協力し、補強も含め完成しました。来年1月の落ち葉掃きでたくさん集めることができるようになりました。



○12月の活動予定

12月は、来年1月に行う落ち葉掃きの準備作業として、折れ枝、枯れ枝を集めとゴミを拾う作業を行います。

第2、第4水曜日は刈込隊の方々で下草刈りを実施予定です。

みよしグリーンサポート隊、会員各位のご協力を切に願います。

次回の活動日は12月19日（日）トラスト地で実施予定。